



京葉銀行のコミュニケーションシンボル

「A」の交点の立体的な重なりと上方へ鋭く伸びてゆくラインは、
人と人との交わりと、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。

コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、

“ 人と人の交わりを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい ”

“ 常に皆様にプラスアルファを提供し続ける銀行になりたい ”

そんな京葉銀行の思いをあらわしています。



当行のプロフィール

創 立	昭和18年3月
総 資 産	2兆8,487億円
預 金	2兆6,305億円
貸 出 金	1兆9,204億円
資 本 金	497億円
発行済株式総数	普通株式290,855千株
自己資本比率	10.30%(国内基準、単体)
行 員 数	1,900人
店 舗 数	262カ店
	(有人店舗 115カ店・無人店舗 147カ店)
	(平成17年3月31日現在)

ごあいさつ



いつも「アルファバンク」京葉銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
本年も、私どもに対する皆様のご理解を一層深めていただけるようディスクロージャー誌「2005京葉銀行レポート」を作成いたしました。当行の経営方針や業務内容、地域社会とのふれあい、新しいサービス・商品などをできるだけ分かりやすくご説明させていただくことを心がけました。ご参考にしていただければ幸いに存じます。

平成16年度の経済金融情勢は個人消費、設備投資とも総体として緩やかな回復基調を保ちました。また、株式市場における個人投資家の売買シェアも17年ぶりの高水準となり、家計の外貨資産も過去最高になるなど貯蓄から投資への流れが見え始めました年でもありました。

このような環境の中、当行では平成17年度からの2年間を新たなステージへと飛躍する非常に重要な期間と位置付け、第12次中期経営計画「 α New STAGE 2007～新たな価値創造への挑戦～」をスタートしました。これは当行の経営課題である「収益力の強化」、「企業再生と地域社会の活性化」、「経営管理力の強化」、「お客様、株主、地域社会からの厚い信頼の獲得と従業員満足度の向上」を実現させ、皆様からさらなる信頼をいただくべく策定した計画です。

これからも、地域のお客様や市場から揺るぎない信頼を得られますよう、役職員一同、全力をあげて努力してまいりますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

取締役頭取 綿貫弘一